



バックヤード  
が見れる  
説明会が大人気！  
◀ 詳細はこちら

## 株式会社 マツヤスーパー

京都市山科区竹鼻地藏寺南町9番地1 (営業本部)  
TEL:075-501-3388  
http://www.matsuyasuper.co.jp/  
従業員数:正社員168名  
準社員・パート・アルバイト・属託773名  
合計 941名  
設立:1961年8月  
主な事業内容:スーパーマーケットの経営、  
ショッピングセンターの運営開発



### JOB INFORMATION

#### 正社員募集

『『おっちゃんとおばちゃん』の求人広告を  
見ての応募です』とお伝えください。



#### 店舗管理スタッフ

※2025年11月時点の情報です。

【内容】店長、バイヤー、トレーナー、幹部(商品部・店舗運営部・開発部・管理部・情報システム部・販売促進部)等の候補生として研修、店舗など現場での実務経験を積んでいただきます。

【応募資格】2026年3月に大学・短大を卒業見込みの方(全学部学科)、および既卒者。

【給与】大卒270,000円 短大卒252,000円

【諸手当】通勤交通費(月額50,000円まで支給)、時間外勤務手当など。昇給:年1回 賞与:年2回

【勤務地】京都、滋賀

【勤務時間】7:30~24:00の間で実働8時間

【休日】年間合計113日(交替制)、年次有給休暇、特別有給休暇

【福利厚生】健康保険、雇用保険、厚生年金、労災、財形貯蓄、確定給付企業年金(退職金制度)、確定拠出年金、育児休業制度、育児短縮勤務制度、介護休業制度、介護短縮勤務制度、健康診断、インフルエンザ予防接種一部補助、グループ保険共済制度、社員持株会、リゾートトラスト(リゾートホテル)加入 など

【その他】UAゼンセンマツヤスーパー労働組合  
※入社後、加入していただきます。

【教育制度】  
新入社員研修、各担当者研修会、  
通信教育斡旋、資格取得支援制度 など

【連絡先】  
まずは一度お電話ください。  
☎075-501-3388  
(担当:高谷・横山)

新卒採用を目的とした広報活動は、その年の内閣府提示の日程に準じます(例・広報活動開始は卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降)。「在学中のみなさんが今年生なのか」に応じて、時期によりお伝えすべき情報は変わります。詳細は人事部に直接お問合せください。



取材は終始楽しい雰囲気  
で進んだ。左から高谷さ  
ん、柴田さん、石田さん、  
矢島さん、本田さん。

「マツヤスーパーさんでは自分を出したほうがいいとわかりました。どんな会社でも同じですか?」との学生の発言に、こう高谷さんは助言する。

「業界・業種にもよるでしょう。銀行やCA(客室乗務員)など、ある程度仕事の型や雰囲気が決まっている職場なら、企業に合わせた対応も必要かもしれませんが、その企業が求める人材を見極めることをおすすめします。」

また「本音を出して就活がうまくいかなかったら、自分が否定されたように怖い」という意見も。高谷さんは、「就活は、縁とタイミングによる面がととても大きいです。仮に選ばれなかったとしても、それは企業とあなたの都合や考えが合わなかっただけで、決してあなたの能力の否定ではありません」と

面接では  
自分を出すべきか?

#### 働く人の 実感



ライブで思い切り叫んで、  
楽しんで帰ってくるので、入社時は  
モチベーション満タンで働けます

力説。むしろ学生側が「企業を選ぶ」側に立ち「私を選ばないなんて、大した企業ではない」、と思うぐらい強気がいいのです」とアドバイス。

「面接で自分を偽って入社しても、仕事を続けるうちに本当の自分との違いに悩むようになると思います。素直な自分で面接に臨むほうが、結果的には長続きするのでは。」

高谷さんの、人事の立場からの言葉に大きく頷く学生たち。就活への気負いがやわらいだ訪問となった。



矢島さん  
花園大学3年

面接は企業好みに作り込  
むしかないと思っていま  
した。自分を偽らず、長く働  
ける職場を見つけたいです。



石田さん  
京都大学2年

素の自分を出して選んでく  
れる企業を見つけたいと思  
いました。「強気がいい」と  
いう視点も新鮮でした。



本田さん  
立命館大学3年

趣味も仕事も真剣に向き  
合う姿が素敵でした。「何  
事も自分らしく取り組んで  
いい」。励まされました。

#### 訪問した学生たちの感想



株式会社マツヤスーパー  
入社2年目 柴田 彩音 さんの場合

ワークライフ  
バランスを  
考える!

## 年28回ライブに参加! 推し活、できてます!

働く人は「ワークライフバランス」をどう実現しているのか。

1店舗あたり年間平均売上高28.7億円と、全国トップクラスを誇るマツヤスーパーを訪ね、  
プライベートで充実した推し活ライフを送る社員さんに話を聞いた。



推し活と仕事は  
両立できる!

京都・滋賀に8店舗をもち、地域密着を貫くマツヤスーパーに、2年前に新卒入社した柴田さん。レジ部門に所属し、レジやサービスカウンターでの接客のほか、アルバイトや準社員の教育・マネジメントにも携わっている。柴田さんの志望動機はシンプルだ。

「接客が好き、地域に密着して働きたい。まずはこの2つを就活の軸にしました」。京都生まれの滋賀育ち。最初は銀行や同業他社もまわってみたが、説明会の雰囲気から、「自分が楽しく働けそうなのはマツヤスーパー」と直感、3回にわたる人事の方や社長との面接でもその思いを強くしたという。

柴田さんのライフワークは推し活。仕事と趣味が両立できるかどうか、外せないポイントだった。そこで最初の面接時から、このことを包み隠さずに話した柴田さん。

「マツヤスーパーでは皆さんが興味をもって私の話を聞いてくださったので、面接でも緊張せずに、素の自分を出せました」。

定期的に全国ツアーに行くための休みを確保できるかも確認し、今年は28回ライブへ足を運んだ。

マツヤスーパーは年間休日113日、月に3日は希望日に休みを取れるため、ライブに合わせてスケジュール調整もしやすい。平日の休暇を生かし、東京

#### 人事部の 名言



本音と言える人は  
就活もうまくいく

や北海道など遠方での推し活も実現しているという。

プライベートの充実だけではない。

柴田さんは仕事にも熱心だ。職場には憧れの先輩がいる。お客さまや周りに目を配り、声にならない要望に気づいて対応し、気持ちよく買い物をしてもらえるよう善処する先輩だ。

「あんなふうに仕事ができる大人になりたいと、日々学んでいます」。

マツヤスーパー人事総務部長の高谷歩さんはこう話す。

「柴田さんは面接で、プライベートでやりたいことがあると話し、目が輝いていました。実際仕事にも一生懸命で、イキイキと働く姿に周りも刺激を受けています」。

マツヤスーパーは社員それぞれの働きやすさを重視している。

「面接では自分を偽らず、聞きたいこと、やりたいことも、どんどん話してください。会社側も希望に沿うように配慮しますし、そのほうが、就活も仕事もうまくいきますよ」。